

日本語 Compaq DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS

リリース・ノート

AA-PZCFL-TE

2002年8月

本書は、日本語 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS についての制限、使用法のヒント、その他有用な情報について説明します。

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Alpha V6.2 , V7.2-2 ,
V7.3 , V7.3-1
日本語 OpenVMS VAX V5.5-2 , V7.2 ,
V7.3

ソフトウェア・バージョン: 日本語 Compaq DECprint Supervisor
(DCPS) for OpenVMS V2.1

コンパックコンピュータ株式会社

2002 年 8 月

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表はコンパックの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2002 Compaq Information Technologies Group, L.P.

Compaq, Compaq ロゴ, Alpha, DCPS, DECnet, OpenVMS, VAX および VMS は, Compaq Information Technologies Group, L.P. の商標です。

Microsoft および Windows は米国 Microsoft 社の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	ix
1 英語版 DECprint Supervisor V2.1 との対応	
2 日本語 DCPS バージョン 2.1 の情報	
2.1 日本語 DCPS バージョン 2.1 の変更点	2-1
2.1.1 サポートされる OpenVMS システム	2-1
2.1.2 新しいプリンタのサポート	2-1
3 DCPS の制限事項	
3.1 自動検出機能の付いたプリンタ	3-1
3.2 raw TCP/IP または LAT キューでのジョブの "Starting" 状態	3-2
3.3 raw TCP/IP キューでのジョブの "Starting" 状態	3-2
3.4 raw TCP/IP キューの接続の切断	3-3
3.5 使用不能な raw TCP/IP プリンタについての NOT_READY 警告メッセージ	3-4
3.6 カラー PostScript を生成できないトランスレータ	3-4
3.7 PostScript Level 2 プリンタでのジョブのトレーラ・ページのシフト排紙	3-4
3.8 特定のプリンタでの ANSI トレイ選択不可	3-5
3.9 AppleTalk キューが起動しない、あるいはジョブが "Starting" 状態のままとなる	3-6
3.10 ホストにステータス・メッセージを送信しないいくつかのプリンタ	3-6
3.11 常に正しく出力されるとはかぎらないプリンタ名	3-7
3.12 DECwindows ソフトウェアあるいは DECimage Application Services を必要とする DDIF 出力	3-7

3.13	NUMBER_UP および PostScript ドライバの互換性	3-8
3.14	PAGE_SIZE パラメータを無視する LIST トランスレータ	3-8
3.15	挿入された PJI コマンドの無視, バイナリ・モードは避けるべきこと	3-8
3.16	いくつかのプリンタでのエラー後の信頼性のない通信	3-9
3.17	AppleTalk 使用時のジョブの削除	3-9
3.18	接続を拒否している PrintServer プリンタに対する STOP/QUEUE/RESET の使用を避けること	3-10
3.19	DELETE/ENTRY でのジョブのトレーラ・ページの出力	3-10
3.20	/COPIES を指定した出力時の PostScript ファイルの問題	3-10
3.21	/JOB_COUNT を指定した場合の PAGE_LIMIT 使用の問題	3-11
3.22	I/O バッファ設定が小さすぎる場合の OPCOM エラー発生の可能性	3-11
3.23	PrintServer プリンタのキューの起動不可	3-11
4	日本語版 DCPS の制限事項	
4.1	A4 用紙にランドスケープ・モードで印刷する場合	4-1
4.2	半角英数字フォント	4-2
4.3	テキスト・トランスレータ	4-2
4.4	日本語版 DCPS に関するその他の情報	4-8
4.4.1	カラー・セパレータ・ページと日本語 PrintServer 17/600 給紙 トレイ切り替えの相互作用	4-9
5	DCPS に影響を与えるその他の制限事項	
5.1	DCPS プロセスがメモリおよびページファイルを消費すること	5-1
5.2	マルチストリーム・シンビオントでのキュー起動の問題	5-2
5.3	LAT 接続および直接接続プリンタのキュー起動の問題	5-3
5.4	シリアル接続プリンタの I/O エラー	5-4
5.5	不十分なダイナミック・メモリ・エラーによるシンビオントの強制終了	5-4
5.6	アクセス違反あるいは不正パラメータ・エラーによるシンビオントの強制終了	5-5

6 プリンタ固有の情報

6.1	リコー製プリンタ	6-1
6.1.1	RICOH IPSiO NX920 , NX910 , NX900	6-1
6.1.1.1	制限事項	6-1
6.1.1.2	セパレータ・トレイの指定	6-1
6.1.2	RICOH IPSiO NX800	6-2
6.1.2.1	制限事項	6-2
6.1.2.2	セパレータ・トレイの指定	6-2
6.1.3	RICOH IPSiO NX810	6-3
6.1.3.1	制限事項	6-3
6.1.3.2	セパレータ・トレイの指定	6-3
6.1.4	RICOH IPSiO Color 8100 , 8000	6-4
6.1.4.1	制限事項	6-4
6.1.4.2	セパレータ・トレイの指定	6-4
6.1.5	RICOH IPSiO Color 4100	6-5
6.1.5.1	制限事項	6-5
6.1.6	RICOH IPSiO NX710 , NX700	6-5
6.1.6.1	制限事項	6-5
6.1.7	RICOH IPSiO NX730 , NX720N	6-6
6.1.7.1	制限事項	6-6
6.1.7.2	セパレータ・トレイの指定	6-6
6.1.8	RICOH PC LASER NX-510 , NX-500	6-7
6.1.8.1	制限事項	6-7
6.1.9	RICOH IPSiO NX1100 , PC LASER NX-1000	6-7
6.1.9.1	制限事項	6-7
6.2	沖データ製プリンタ	6-7
6.2.1	OKI MICROLINE 1035PS , 1032PS	6-7
6.2.1.1	制限事項	6-7
6.2.1.2	セパレータ・トレイの指定	6-8
6.2.1.3	raw TCP/IP のポート番号	6-8
6.2.2	OKI MICROLINE 703N3 , 701N3	6-8
6.2.2.1	制限事項	6-8
6.2.2.2	セパレータ・トレイの指定	6-9
6.2.3	OKI MICROLINE 3020cV	6-9
6.2.3.1	制限事項	6-9
6.2.3.2	セパレータ・トレイの指定	6-10
6.2.3.3	raw TCP/IP のポート番号	6-11
6.2.4	OKI MICROLINE 3020c , 3010c	6-11
6.2.4.1	制限事項	6-11
6.2.4.2	セパレータ・トレイの指定	6-11
6.2.4.3	raw TCP/IP のポート番号	6-12

6.2.5	OKI MICROLINE 2030N , 2020N	6-12
6.2.5.1	制限事項	6-12
6.2.5.2	セパレータ・トレイの指定	6-13
6.2.5.3	raw TCP/IP のポート番号	6-13
6.2.6	OKI MICROLINE 900PSIII LT , 903PSIII	6-13
6.2.6.1	制限事項	6-13
6.2.7	OKI MICROLINE 801PSIIV-LT , 802PSIIV , 803PSIIV ...	6-14
6.2.7.1	制限事項	6-14
6.2.8	OKI MICROLINE シリーズすべて	6-15
6.2.9	OKI MICROLINE シリーズでの raw TCP の利用時の制限事項	6-15
6.3	セイコーエプソン製プリンタ	6-15
6.3.1	InterLaser LP-9600SPD	6-15
6.3.1.1	制限事項	6-15
6.3.1.2	セパレータ・トレイの指定	6-16
6.3.2	InterLaser LP-8700PS3	6-16
6.3.2.1	制限事項	6-16
6.3.2.2	セパレータ・トレイの指定	6-16
6.3.3	ESPER-LASER LP-9200PS3	6-17
6.3.3.1	制限事項	6-17
6.3.3.2	セパレータ・トレイの指定	6-17
6.3.4	ESPER-LASER LP-8400PS3	6-17
6.3.4.1	制限事項	6-17
6.3.4.2	セパレータ・トレイの指定	6-17
6.3.5	ESPER-LASER LP-9200PS2	6-17
6.3.5.1	制限事項	6-17
6.4	富士ゼロックス製プリンタ	6-18
6.4.1	FUJI XEROX DocuPrint 201PS	6-18
6.4.1.1	制限事項	6-18
6.4.2	FUJI XEROX DocuPrint C1250	6-18
6.4.2.1	制限事項	6-18
6.4.3.2	セパレータ・トレイの指定	6-18
6.4.3	FUJI XEROX Laser Press 4410	6-18
6.4.3.1	制限事項	6-19
6.4.3.2	セパレータ・トレイの指定	6-19
6.5	HP LaserJet 2100 および 2200	6-19
6.5.1	メディア・サイズが選択できない	6-19
6.5.2	キューの起動に関する問題	6-20
6.6	HP LaserJet 9000	6-20
6.6.1	オプションのホチキス止め機能	6-20

6.7	Lexmark Optra S, Optra T および T シリーズ	6-20
6.7.1	キューの起動に関する問題	6-20
7	DCPS でのホチキス止め機能の使用	
7.1	DCL 構文	7-1
7.2	ホチキス止め可能な位置	7-1
7.3	ホチキス止めに関する注意事項	7-3
7.4	DCPS ホチキス止め機能のエラー・メッセージ	7-7
8	DCPS バージョン 2.1 の情報	
8.1	DCPS バージョン 2.1 の変更点	8-1
8.1.1	新しいプリンタのサポート	8-1
8.1.2	ホチキス止め機能のサポート	8-2
8.1.3	パンチ機能のための新しい PUNCH パラメータ	8-2
8.1.4	新しい用紙サイズ	8-3
8.1.5	オプションのスタッカ・トレイに対する追加の名前	8-3
8.1.6	スタートアップ・プロシージャの変更	8-3
8.1.7	DCPS バージョンの論理名	8-4
8.1.8	すべてのキューに対する USERNOTFOUND メッセージの抑制	8-4
8.1.9	古い情報の削除	8-5
8.1.10	移動された NETPRINT ユーティリティ	8-5
8.2	DCPS バージョン 2.1 で解決された問題	8-5
8.2.1	STREAMUSE エラーのためにキューが起動できない	8-6
8.2.2	MOPy で複数ファイルのジョブが印刷できない	8-6
8.2.3	プリンタのパスワードを変更すると DCPS のエラー・ページが出力されなくなる	8-7
8.2.4	Lexmark Optra Se 3455 のトレイが選択できない	8-7

A raw TCP/IP ポート番号

B Alpha システムにインストールされるファイル

C VAX システムにインストールされるファイル

D ドキュメンテーション・キットの構成

図

7-1	NUMBER_UP のホチキス止めへの影響	7-7
-----	-----------------------------	-----

表

7-1	IPSiO NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 , および LN32 , LNM40 , mL320 , mL401 でのホチキス止め可能な位置	7-2
7-2	IPSiO NX800 , NX810 でのホチキス止め可能な位置	7-2
7-3	OKI MICROLINE 3020cV でのホチキス止め可能な位置	7-3
7-4	IPSiO NX800 , NX810 , NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向	7-5
7-5	LN32 , LNM40 , mL320 , mL401 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向	7-5
7-6	OKI MICROLINE 3020cV ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向	7-6
A-1	raw TCP/IP ポート番号	A-1

まえがき

本書の目的

本書では、日本語 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS の本バージョンでの拡張および改良について記述しています。このリリース・ノートは、次の事柄について詳細を説明します。

- 本バージョンで追加された機能
- 本バージョンで修正された問題
- 既知の問題
- 制限事項
- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS に関する追加情報

日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS に関しては、以下のマニュアル・セットをご覧ください。

- 『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS インストレーション・ガイド』
- 『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』
- 『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド』

ライセンスに関する必要条件や各ライセンスで使用可能な機能については、『日本語 DECprint Supervisor Version 2.1 for OpenVMS ソフトウェア仕様書』(SPD)を参照してください。

注意

日本語 DCPS V2.0 からは、DCPS-OPEN および DCPS-PLUS のライセンスは必要ありません。現在では、DCPS のすべての機能を使用する権利

は、OpenVMS オペレーティング・システムのライセンスに含まれていま
す。

英語版 DECprint Supervisor V2.1 との対応

日本語 DECprint Supervisor V2.1 for OpenVMS は、英語版 DECprint Supervisor V2.1 を日本語用に拡張した製品です。本製品によって、弊社のすべての日本語 PostScript プリンタと、特定の他社製日本語 PostScript プリンタがサポートされます。

英語版 DECprint Supervisor V2.1 は、現時点では日本でサポートされていないプリンタ製品もサポートしています。日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ではそれらの機能を削除してはなりません。しかし、その機能については弊社からのサポートは受けられません。また、日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS には、HP PCL トランスレータなどの、日本語対応がされていない構成要素もそのまま含まれています。今後、サポートされるプリンタ製品および日本語機能が追加された場合には、その時点での『ソフトウェア仕様書』および『リリース・ノート』を参照してください。

日本語 DCPS バージョン 2.1 の情報

この章では、日本語DCPS V2.1で変更された点について説明します。いくつかの変更点については、本書の別の箇所でも詳細に説明しています。

日本語 DCPS V2.1 は、標準版 DCPS V2.1 をもとに作成されています。日本語 DCPS V2.0 以降に変更された英語版の情報については、第 8 章を参照してください。

2.1 日本語 DCPS バージョン 2.1 の変更点

この節では、日本語DCPS V2.1で変更された点について説明します。いくつかの変更点については、本書の別の箇所でも詳細に説明しています。

2.1.1 サポートされる OpenVMS システム

現在、日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS は、日本語OpenVMS Alpha V6.2, V7.2-1, V7.3 が稼動しているシステム、および日本語OpenVMS VAX V5.5-2, V7.2, V7.3 が稼動しているシステムでサポートされます。

2.1.2 新しいプリンタのサポート

日本語 DCPS V2.1 では、次のプリンタのサポートが追加されました。

RICOH IPSiO Color 8100

RICOH IPSiO NX920

RICOH IPSiO NX730

詳細については、本リリース・ノートの第 6 章を参照してください。

DCPS の制限事項

以降の各節では、DECprint Supervisor の現在の制限事項について説明します。日本語版の DECprint Supervisor に固有の制限事項については、第 4 章で説明しています。また、プリンタ固有の制限事項については、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』および『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

3.1 自動検出機能の付いたプリンタ

多くのプリンタでは、プリント・ジョブのデータ・タイプを検出することができます。このようなプリンタでは、フロント・パネルまたはプリンタ管理ソフトウェアを使用して、接続チャンネル毎に自動検出の状態と自動検出機能が有効になっているかどうかを調べることができます。

この機能を提供するほとんどのプリンタについては、プリンタが“PostScript”モードあるいは“Auto-Sensing”モードに設定されている場合、日本語 DECprint Supervisor ソフトウェアは正しく動作します。このようなプリンタは、DCPS キューを起動する前に、上記のモードのいずれかのモードで動作するように設定しておかなければなりません。プリンタが“PCL”モードに設定されている場合は、DCPS ソフトウェアは正しく動作しません。

詳細については、本書の第 6 章および『日本語 Compaq DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』を参照してください。

3.2 raw TCP/IP または LAT キューでのジョブの "Starting"状態

ほとんどのプリンタは DCPS ジョブの冒頭で PostScript 同期化コマンドに応答しますが、応答しないプリンタもあります。あるキューのすべてのジョブが Starting 状態のままの場合には、次のいずれかの処置を講ずる必要があります。

- プリンタの言語設定を変更する

ほとんどの場合、プリンタの言語識別モードを、PostScript と PCL の自動検出ではなく、PostScript に設定すると、この問題は解決されます。適切なポートに対して言語を変更する手順については、ご使用のプリンタのドキュメントを参照してください。これが、この問題を回避するための推奨方法です。

- NO_SYNC 論理名を定義する

プリンタの設定を変更しても問題が解決されない場合には、論理名 `DCPS$queuename_NO_SYNC` を定義し、キューを再起動することにより、DCPS に PostScript 同期化コマンドをスキップするように通知することができます。これは、組み込みネットワーク・インタフェース・カード (NIC) 上で raw TCP/IP または LAT 接続を使用するプリンタで機能します。他の相互接続を経由して接続されているプリンタを使用している場合には、何の効果もありません。

3.3 raw TCP/IP キューでのジョブの "Starting"状態

raw TCP/IP 接続を使用する DCPS キューを設定する際にプリンタに不正な TCP ポート番号を指定した場合、そのキューに出力したプリント・ジョブは "Starting"状態のままとなります。これは、DCPS がネットワーク障害とプリンタのビジー状態あるいはオフライン状態を区別できないため、DCPS がユーザによる不正なポート番号指定であるかどうかを判断することができないことが原因です。

これ以外の理由によっても raw TCP/IP キュー内のプリント・ジョブが "Starting"状態のままとなる場合があることに注意してください。

プリンタ、ネットワーク・インタフェース・カード、プリント・サーバ、ターミナル・サーバのドキュメントをチェックし、正しいTCPポート番号を使用していることを確認してください。TCPポート番号については、本書の表 A-1 にも記述されています。

3.4 raw TCP/IP キューの接続の切断

raw TCP/IP 接続を使用している場合、長いプリント・ジョブについては CONTERMINATED エラーが発生する可能性があります。単一のファイルから構成されるジョブあるいはプリンタのネイティブ PostScript 互換機能のみを使用している場合 (たとえば、ネイティブ PCL を使用しない場合)、このエラーはジョブの最後で発生する傾向があり、(キューに対してトレーラを指定している場合) トレーラ・ページは出力されず、(プリント・ジョブのアカウント機能を有効としている場合) アカウント情報は消失します。これ以外のジョブについてはジョブの途中で発生する可能性があり、トレーラ・ページと同様に以降のドキュメントは出力されず、(プリント・ジョブのアカウント機能を有効としている場合) アカウント情報は消失します。DCPS は中断されたジョブを再度キューに登録して "Holding" 状態とし、ユーザによる問題解決後に再度そのジョブを出力できるようにします。

HP JetDirect カードを含むいくつかのネットワーク・デバイスでは、指定された時間内にホスト・システムから入力を受け取らない場合には、TCP/IP 接続が切断されます。これは、ホスト・ソフトウェアによるデバイスの専有を防ぐための機能です。ただし DCPS は、プリンタが PostScript から別のネイティブ・プリンタ言語に切り替える場合、あるいはトレーラ・ページの出力およびアカウント情報の収集を行う場合、その前に出力したドキュメントをプリンタが出力したことという通知を受け取るまで待ちます。この場合はたとえプリンタがビジー状態であっても、指定されたタイムアウト時間が経過するまで、NIC は DCPS からのそれ以上の入力を受け取ることができません。

NIC の TCP/IP アイドル・タイムアウト時間の変更が可能である場合は、タイムアウトを無効とすること、あるいはタイムアウト時間を長くすることによってこの問題を回避することができます。NIC のドキュメントをチェックして、これが可能であるかどうか、また可能であればその方法を確認してください。続いて、必要な

出力が得られないため、キューに再登録されたジョブを解除し、キューに再登録されているその他のジョブを削除してください。

重要なのはジョブのサイズではなく、その処理にかかる時間であることに注意してください。たとえば、非常に小さな PostScript プログラムであっても、出力に非常に長い時間がかかる場合があります。このため、どの程度のタイムアウト時間が適当であるのかを予想することは一般的に困難です。

3.5 使用不能な raw TCP/IP プリンタについての NOT_READY 警告メッセージ

raw TCP/IP 接続を使用するプリンタのキューにジョブを登録した際に、そのプリンタがビジー状態あるいはオフライン状態である場合は、そのプリンタについて NOT_READY 警告メッセージが表示されます。プリンタがビジー状態にあることが確実である場合は、このメッセージを無視することができます。DCPS は、プリンタがビジー状態であるか、オフライン状態であるか、その他の理由により使用不能であるかを区別することができません。

3.6 カラー PostScript を生成できないトランスレータ

DCPS で提供されているトランスレータ (たとえば ReGIS) は、カラー情報を含んでいるソース・ファイルであっても、カラー PostScript コマンドを生成することはできません。カラー情報は、グレースケールに変換されます。

3.7 PostScript Level 2 プリンタでのジョブのトレーラ・ページのシフト排紙

PostScript Level 2 プリンタで各ジョブを分離して出力するようにジョブ・シフト排紙を有効にしている場合、ジョブ本体とそのトレーラ・ページ間でシフト排紙が発生します。

3.8 特定のプリンタでの ANSI トレイ選択不可

トレイ選択のエスケープ・シーケンスを含む ANSI ファイルを出力する場合、使用しているプリンタによっては出力できない可能性があります。この場合、`offending command is "setpapertray"`という PostScript 構成エラーが発生してジョブが中断されます。

また、Compaq Laser Printer LN16 などのいくつかのプリンタでは、PostScript トレイ番号 0 の給紙トレイを持っています。トレイを選択するために ANSI エスケープ・シーケンス `DECASFC` が使用されますが、0 という値はトレイの変更がないという意味であり、トレイ 0 の選択はできません。たとえば、次の ANSI エスケープ・シーケンスはトレイ 0 を選択せず、トレイの変更なしを示します。

```
<CSI>0!v
```

この問題の回避策は、`TRN$XLATE_DICT` ディレクトリ内に `settoptray`、`setbottomtray`、`setlcitray` という PostScript コマンドを再定義するセットアップ・モジュールを作成して起動することです。

たとえば、Compaq Laser Printer LN16、DIGITAL Laser Printer LN15 あるいは LN15+ の場合は、`settoptray`、`setbottomtray`、`setlcitray` を次のように定義するセットアップ・モジュールを作成します。

```
TRN$XLATE_DICT begin
  /settoptray      { statusdict begin 0 setpapertray end } def
  /setbottomtray  { statusdict begin 1 setpapertray end } def
  /setmanualfeedtray { statusdict begin 3 setpapertray end } def
end
```

たとえば HP LaserJet 4M Plus の場合には、`settoptray`、`setbottomtray`、`setlcitray` を次のように定義するセットアップ・モジュールを作成します。

```
TRN$XLATE_DICT begin
  /settoptray      { statusdict begin 3 setpapertray end } def
  /setbottomtray  { statusdict begin 0 setpapertray end } def
  /setlcitray     { statusdict begin 1 setpapertray end } def
end
```

PostScript トレイ番号は、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド』に記述されています。

3.9 AppleTalk キューが起動しない、あるいはジョブが "Starting" 状態のままとなる

AppleTalk を使用するプロセスの最初のプリント・キューが次のようなエラーを発生して出力できず、キューが起動しないことがあります。

```
%DCPS-W-ATK_FOR_VMS, Error connecting to AppleTalk for VMS driver
```

AppleTalk 接続を使用した別のキューが同一プロセス上で起動されている場合、このエラーは通知されません。これらのキューがその後に起動された場合でも、これらのキュー上のジョブは "Starting" 状態のままとなります。

AppleTalk ネットワーク・ソフトウェアが起動される前に AppleTalk 接続を使用したキューが起動された場合、キューは起動されたとしても機能しません。これは、DCPS がマルチストリーム・シンビオントとして起動されていて、別のプリント・キューが同一プロセス内で起動されている場合に発生します。

このようなエラーからの回復方法は、AppleTalk ネットワーク・ソフトウェアが起動していないことを検出した、現在起動されているシンビオント・プロセス(シンビオント・プロセス毎に 1 つのエラー・メッセージが通知されます)がサポートしているすべてのキューを停止させることです。続いて、AppleTalk ソフトウェアおよびキューを再起動します。

この問題の回避策は、DCPS プリント・キューを起動する前に AppleTalk ネットワーク・ソフトウェアを起動することです。

3.10 ホストにステータス・メッセージを送信しないいくつかのプリンタ

いくつかのプリンタではその内部的な構造により、プリンタと通信しているホスト・システムではなく、プリンタ・コンソールにステータス情報を通知するものが

あります。このため DCPS はいくつかのステータス状態 (たとえば紙切れ、紙詰まり、複雑すぎるページ、カバーの開放など) を検出できないため、ユーザにその状態を通知することができません。その代わりに、その後に DCPS がそのプリンタと通信しようとした場合に、DCPS キューは "Stalled" 状態となります。これは最初にこの問題が発生したジョブで表示されることも、その後のジョブで表示されることもあります。

この問題が発生するプリンタは次のとおりです。

- DEClaser 5100 プリンタ
- LN17ps プリンタ
- いくつかの HP LaserJet III プリンタおよび IV プリンタ (ただし、紙詰まりの回復機能が無効となっている場合、HP PostScript-Plus Level 2 カートリッジの付いた HP LaserJet III および HP LaserJet IIISi では発生しません。)

3.11 常に正しく出力されるとはかぎらないプリンタ名

各国語対応文字が PostScript "printername" で使用されている場合、セパレータ・ページの下部に出力されるプリンタ名が間違った文字セットで出力される可能性があります。

3.12 DECwindows ソフトウェアあるいは DECimage Application Services を必要とする DDIF 出力

DDIF エンコード 2 値イメージを出力するには、DCPS は DECwindows ソフトウェアあるいは DECimage Application Services (DAS) がシステムにインストールされていることを必要とします。DAS は OpenVMS VAX システムだけで使用可能です。

3.13 NUMBER_UP および PostScript ドライバの互換性

アプリケーションで LaserWriter 8.0 または 8.1.1 ドライバ、あるいは Adobe 2.1.1 Windows ドライバを使用して作成された PostScript ファイルは、1 より大きな NUMBER_UP が指定された場合に正しく出力されません。

この場合、ページが抜けたり、NUMBER_UP ページ位置とは異なる位置に出力されたり、間違った拡大縮小率で出力されるという現象が発生します。

3.14 PAGE_SIZE パラメータを無視する LIST トランスレータ

LIST トランスレータは、ページのフォーマットの際に PAGE_SIZE パラメータを無視します。この場合、LIST トランスレータは A (レター用紙) および A4 用紙に適合する最大サイズのページを作成します。

ポートレートの場合: 80 カラム, 70 行

ランドスケープの場合: 150 カラム, 66 行

PAGE_SIZE および SHEET_SIZE パラメータの両方を指定して、論理ページを拡大縮小して異なるサイズの用紙に出力することが可能です。

3.15 挿入された PJI コマンドの無視、バイナリ・モードは避けるべきこと

DEClaser 5100 および HP LaserJet IV ファミリーなどの PJI プリンタ用のファイルを作成するドライバは、HP Printer Job Language (PJI) 内にプリンタ制御コマンドを含んでいます。DCPS はそのデータを検出して無視します。このため、そのようなドライバによって選択されたプリンタ・オプションはプリンタ・ジョブに影響を与えません。

これらのドライバを使用する場合は、バイナリ・モードを選択してはなりません。バイナリ・モードでは、DCPS を経由して出力する場合に不正な動作を引き起こす可能性のあるコマンドをファイルに追加するからです。DCPS トランスレータ

を經由してジョブが渡されたかどうかに関わらず、出力フォームはキューに実際に接続されているプリンタに依存しています。

3.16 いくつかのプリンタでのエラー後の信頼性のない通信

AppleTalk 接続を使用していくつかのプリンタに出力した場合、プリント・ジョブの最後で予測できないエラーが発生する可能性があります。この問題が発生するプリンタには、LaserWriter Pro 600、LaserWriter Pro 630、LaserWriter IIg、LaserWriter IIxなどが含まれます。一般に、プリント・ジョブで特定の理由の明確なエラー、たとえば PostScript インタプリタに "Flush to the EOJ" を発生させる PostScript エラー、あるいは手差しによる給紙を待つ間にタイムアウト・エラーなどが発生した場合、予測できないエラーが発生します。次のような現象が発生します。

- 第 2 の PostScript エラーあるいはタイムアウト・エラーの発生
- DCPS とプリンタ間の通信の切断
- ジョブのトレーラ・ページが指定されている場合に出力されない
- アカウント情報ファイル内のページ・カウントの不正
- ジョブが完了するまでに最大 1 分の遅延

プリント・ジョブのユーザによる出力部分は正しく出力されます。DECprint Supervisor によって処理されるジョブの最後 (たとえば、ページ・カウントの取得あるいはトレーラ・ページの出力) で、予測できないエラーが発生します。不正なジョブが終了すると、以降のジョブは正しく出力されます。システム・オペレータが介入しなければならぬ処理は必要とされません。

3.17 AppleTalk 使用時のジョブの削除

AppleTalk 接続を使用して出力している場合、ジョブの削除要求 (DELETE /ENTRY) はプリンタとの接続をクローズすることによって実行されます。AppleTalk プロトコルは PostScript インタプリタへの割り込みを提供しない

め、プリンタはそのバッファに含まれているページ記述部分を継続して出力した後、ジョブの出力を停止します。ジョブのトレーラ・ページは出力されません。

3.18 接続を拒否している PrintServer プリンタに対する STOP/QUEUE/RESET の使用を避けること

ジョブが "Starting" 状態であり、プリンタが接続を拒否している場合 (たとえば、その PrintServer の電源が落ちている、あるいはブート中である場合) に、弊社の PrintServer プリンタのキューに対して STOP/QUEUE/RESET コマンドを実行すると、そのキューは停止します。まれに、そのシンビオント・プロセスが停止する可能性があります。PrintServer プリンタが使用可能となるまで、このコマンドを実行することは避けてください。ジョブが "Starting" 状態であり、PrintServer プリンタのジョブ・キューに登録されている場合、STOP/QUEUE/RESET コマンドは正しく実行されます。

3.19 DELETE/ENTRY でのジョブのトレーラ・ページの出力

プリンタでジョブのトレーラ・ページ出力中に DELETE/ENTRY コマンドを実行した場合、このページの出力を削除することは可能です。また、ファイルのすべてのデータを転送して PrintServer プリンタにジョブを出力している場合であっても、そのジョブに対する DELETE/ENTRY コマンドを実行して、そのジョブのトレーラ・ページが出力されないようにすることは可能です。

3.20 /COPIES を指定した出力時の PostScript ファイルの問題

PostScript ファイルに /COPIES 修飾子を指定した場合、DCPS は各ファイルの前後に PostScript の "save" および "restore" を追加して、プリンタ内の仮想メモリの消費を避けるようにします。

ただし、まれに不正な restore エラー・メッセージを表示してプリント・ジョブが中断する場合があります。この現象が発生した場合は、/COPIES ではなく /JOB_COUNT 修飾子を使用してください。

3.21 /JOB_COUNT を指定した場合の PAGE_LIMIT 使用の問題

/JOB_COUNT 修飾子を指定した場合に PAGE_LIMIT パラメータを使用すると、期待していない出力となる可能性があります。特に、ジョブの最初の何ページかを出力しないように指定した場合、DCPS は最初のコピーについては指定されたページを出力しませんが、以降のコピーについてはすべてのページを出力してしまいます。ジョブの最後の何ページかを出力しないように指定した場合、DCPS は最初のコピーについては指定されたページを出力しませんが、以降のコピーについては指定を無視して出力してしまいます。

いくつかのページを出力しないで複数のコピーを必要とする場合は、/JOB_COUNT 修飾子を使用するのではなく、必要な回数だけ PRINT コマンドを実行するようにしてください。

3.22 I/O バッファ設定が小さすぎる場合の OPCOM エラー発生の可能性

SYSGEN パラメータの MAXBUF で設定された I/O バッファのサイズが小さすぎる場合、プリンタ・キューが停止し、OPCOM に次のメッセージが表示されます。

```
%SYSTEM-E-EXQUOTA, process quota exceeded
```

このエラーが発生した場合は、SYSGEN パラメータの MAXBUF の値を増やしてください。

3.23 PrintServer プリンタのキューの起動不可

弊社の PrintServer ソフトウェアのいくつかのバージョンについての CPAP プロトコルのバグにより、特定のリソースの問い合わせに対して DCPS シンピオントが不正にフォーマットされたパケットを取得する可能性があります。不正なパケットはシンピオントの起動を妨げます。

DCPS の制限事項

3.23 PrintServer プリンタのキューの起動不可

この問題は、1つのパケット(ロードされたリソースを戻すことを記述している)に必要なリソースよりも多くの十分すぎるリソースをロードすることにより発生します。推奨される回避策は、より少ないリソースをロードすることです。経験的なテスト結果によると、その制限は7フォントです。

この問題は、PrintServer ソフトウェアの S5.0-29 以降で解消されています。

日本語版 DCPS の制限事項

この章では、日本語版の DECprint Supervisor に固有の制限事項およびその他の情報について説明します。

4.1 A4 用紙にランドスケープ・モードで印刷する場合

日本語 DECprint Supervisor V1.2 以前の ANSI トランスレータは A4 用紙へのランドスケープ・モードで 66 行出力する場合に問題がありました。サポートされているプリンタのなかには A4 用紙への印刷可能領域が平均的な印刷領域より少し狭くなっているものがあります。これらのプリンタでは、66 行目の内容が失われてしまうか、切れてしまいました。これはプリント・パラメータが PAGE_SIZE=A4, PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE のときに発生します。

日本語 DECprint Supervisor V1.2 以降に添付される ANSI トランスレータは A4 用紙へのランドスケープ・モードでの印刷で 66 行目も正しく出力できます。これを行うために ANSI トランスレータは使用するフォント (SGR 15) の縦方向のスペーシングを変更し、A4 用紙の最大印刷可能領域の値を修正しました。従来のトランスレータの出力結果の方を使いたい場合、DCPS キュー論理名を次の例のように定義します。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$<queue-name>_OLD_ANSI_PAGE_SIZES TRUE
```

なお、漢字 ANSI トランスレータでは、この修正は行なわれていません。もし、漢字トランスレータ使用時に、66 行目が正常に印刷されない場合は、FULL_A4_LANDSCAPE のレイアウト定義ファイルを使用して印刷してください。

4.2 半角英数字フォント

Ryumin-Light.Roman および GothicBBB-Medium.Roman などの日本語フォントには、JIS ローマ字セット以外の文字は含まれていません。このため、装置制御ライブラリ、DCPS\$DEVCTL.TLB にある拡張された findfont オペレータを用いて、これらのフォントに対して ISOLatin1 および DEC マルチナショナル文字セットを使用することはできません。

4.3 テキスト・トランスレータ

1. フォーム定義

漢字 LN05 の標準設定では、フォーム・データ用のメモリは 16 ページあわせて 64 K バイトとなっています。この値は、グラフィック・オプションなどの使用で増やすことができます。トランスレータによるフォーム・オーバーレイでは、1 ページあたり 64 K バイトまでのフォーム・データを登録することができます。1 ページあたり 64 K バイトを越えるフォーム・データを登録しようとする、DECLKF シーケンスそのものが無効になります。PRINT コマンドでマルチファイル指定をした場合、あるファイル内で登録したフォーム・データを他のファイルで使用することはできません。複数のファイルで共通のフォームを使用したい場合は、フォーム・データをセットアップ・モジュールとして登録し、そのモジュールを PRINT コマンドの /SETUP 修飾子で指定してください。

2. 複数ファイルの印刷

複数ファイルを 1 つのプリント・ジョブで印刷する場合、各ファイルの先頭で初期設定が行われます。このため、あるファイルの中で行った設定を、次のファイルで利用することはできません。このようなときは、セットアップ・モジュールに必要なエスケープ・シーケンスを登録しておくことにより、各ファイルの初期状態を制御することができます。

3. LN82R での外字と斜体 (イタリック) 属性の混在

LN82R に印刷されるファイルに外字が含まれ、かつイタリック属性が漢字に対して指定されると、PostScript の FATAL エラーになる場合があります。この場合、プリント・キューを停止し、キューからジョブを削除し、プリンタの電源を入れ直してください。

4. テキスト・トランスレータの性能

テキスト・トランスレータで日本語文書を印刷する場合、必ずしもプリンタ・ハードウェアの最高速度では印刷できません。白黒反転や網かけ、倍角文字、縦書き、外字があるとき、および 1 バイト文字と 2 バイト文字が頻繁に交互に現われるような場合には、印刷速度はさらに遅くなります。

5. テキスト・トランスレータの外字と内蔵フォント

日本語 PostScript プリンタの内蔵漢字フォントは、PostScript のアウトライン・フォントです。外字は日本語 VMS の FEDIT ユーティリティ、または CHARACTER_MANAGER ユーティリティで作成することができますが、このフォントは、40 ドット×40 ドットまたは 32 ドット×32 ドットのビットマップ・フォントです。したがって、外字の倍角文字は内蔵フォントの倍角文字に比べて、印字品質が劣ります (ギザギザが見えます)。

6. 罫線文字

テキスト・トランスレータで使用している罫線文字は、文字間隔/行間隔が文字サイズに比べてかなり大きいときにはつながりません。

また、この罫線は PostScript フォントを使用して表示しているため、表示される位置やサイズによっては装置上で 1 ピクセル程度のずれを生じることがあり、結果として、罫線が一直線にならない場合があります。

7. SIXEL と文字の重ね合わせ

SIXEL とテキストを座標指定 (VPA, HPA など) で位置を指定して、同じページ上で重ね合わせるとき、印刷可能領域上端付近 (通常トップ・マージンの位置) の座標を指定した場合、結果として表示される文字や SIXEL の縦方向 (Y 座標) の位置が LN03/漢字 LN03 とテキスト・トランスレータでは異なります。SIXEL では、どちらも通常は SIXEL の上端の座標が、指定された Y 座標から 70 ピクセル上になるように表示しますが、LN03/漢字 LN03 では、この表示方法を取ったときに SIXEL が印刷可能領域上端を超える場合には、SIXEL の上端の座標が、印刷可能領域上端になるように位置を下げて表示しま

す。このため、印刷可能領域上端付近の座標を指定して文字と SIXEL を重ねた場合に、LN03/漢字 LN03 とテキスト・トランスレータの出力を比べると、LN03/漢字 LN03 の SIXEL はテキスト・トランスレータよりもやや下にずれます。印刷可能領域上端から離れた位置を指定した場合には、両者に違いは見られません。

8. テキスト・トランスレータのプロローグ処理

テキスト・トランスレータは、印刷ジョブの開始時に、大量の PostScript プロローグ処理 (初期設定) を行います。この処理は印刷ジョブの内容によらず常に同じなので、初めからプリンタに常駐させておけば、ジョブの最初の 1 ページが出力されるまでの時間を短縮することができます。デフォルトでは、プロローグを常駐させることにしていますが、このことはテキスト・トランスレータ以外の印刷ジョブにとっては、利用できる PostScript VM (Virtual Memory) が減少していることを意味します。弊社では、PostScript アプリケーションが VM を 400KB 以上使わないようにお勧めしますが、もしもこの制限を守っていないソフトウェアがあると、PrintServer プリンタでは VM が足りないというエラーで実行できなくなる場合があります。PrintServer プリンタとシリアル・プリンタではプロローグを常駐させる処理が異なります。

- 日本語 DEC PrintServer サポートینگ・ホスト・ソフトウェア V4.2 または日本語 PrintServer Software V5.0, V5.1 を使用している場合

このサポートینگ・ホスト・ソフトウェアを使ってブートされた PrintServer では、DCPS と互換性のあるプロローグが常駐しているので、特別に処理をする必要はありません。また、このサポートینگ・ホストでは、プロローグは必ず常駐していなければなりません。

- PostScript シリアル・プリンタの場合

PostScript シリアル・プリンタでは、プリンタの電源投入後の最初のプリント・ジョブで、プロローグが常駐しているかどうかをチェックし、していなければダウンロードします。この時、PostScript パスワードがプリンタ出荷時の設定になっていない場合 (LN82R では 0 でない場合)、プロローグは常駐されません。つまり、PostScript パスワードをデフォルト以外の値に設定することによって、常駐をやめることができます。

9. PostScript フォント UniqueID

テキスト・トランスレータでは、使用する PostScript フォントに対して、UniqueID を指定しています。3658490 から 4194312 の UniqueID は他の PostScript アプリケーションでは使用しないでください。

10. 半角ローマ字フォントの制限

PrintServer では、内蔵 PostScript フォントの Ryumin-Light.Roman および GothicBBB-Medium.Roman の半角ローマ字フォントは、JIS ローマ字以外の文字セットをサポートしません。このため、テキスト・トランスレータでは明朝体半角ローマ字フォントを PostScript Courier フォントで代用しています。

ゴシック体半角ローマ字は PostScript の半角ローマ字を使用しているため、JIS ローマ字または ASCII 文字セット以外の文字セットを指定した場合、存在しない文字は空白 (スペース) 文字で置き換えられます。

11. SETUP モジュールでの印刷

ANSI(ASCII)、KANJI、KANJI78 または LA_KANJI データ・タイプの SETUP モジュールを作成し、その中で文字を印刷することができますが、この文字を PRINT コマンドで指定したファイルの先頭ページに印刷することはできません。SETUP モジュールの中で印刷した場合には、PRINT コマンドのファイルを印刷する前に改ページが行われます。ANSI(ASCII)、KANJI、KANJI78 または LA_KANJI データ・タイプで SETUP モジュールを作成し、その中でフォント・ローディング命令またはピッチ指定命令を使用したときには、空白 (スペース) 文字を含む実際の文字の印刷を SETUP モジュールの中で行うことはできません。

12. DECVPFS とマージン

可変ページ・フォーマット選択命令 (DECVPFS) でページ・オリエンテーションを変更する場合、オリエンテーション変更後のページ・マージン (上下マージン、左右マージン) も同時に指定してください。

マージンを新たに指定しない場合、従来のマージンの値が採用され、シートの外にマージンが設定された状態になることがあります。

13. DECVERP、DECSHORP のパラメータ Ps=0

漢字 LN05 とテキスト・トランスレータの 8 ポイント・フォントの高さは、それぞれ 768 centipoint と 922 centipoint として定義されています。このため、フォントの高さをもとに位置を制御する命令を使うと、出力結果が異なってしまいます。これを避けるため、行ピッチの指定は SPI などでも示的に行うようにしてください。また、8 ポイント・フォントを使っていないファイルでも GSM (文字サイズ指定命令) の後に、DECVERP、DEC SHORP のパラメータで 0 を指定すると、漢字 LN05 とテキスト・トランスレータで行ピッチ/文字ピッチの違いが生じることがあります。この場合も SPI などで行ピッチ/文字ピッチを明示的に指定する事により、同様に互換性を保つことができます。

14. A4 ページ・サイズでの文字ピッチ

A4 ページ・サイズに対して、デフォルト状態での文字属性指定命令 (SGR) で、Ps=10 または 11 によりフォント指定後、文字ピッチ指定命令 (DEC SHORP) の Ps=0 を指定した時の文字ピッチは、10cpi でなく 10.3cpi となります。

15. SS2 と SS3

SS2 または SS3 に続いてコントロール・コードがあった時の処理が、LN05 などと異なる場合があります。SS2 または SS3 は、対象となる文字コードの直前に入れるようにしてください。

16. SUB

SUB コードが漢字コードの 1/2 バイト間に割り込んだ場合の処理が、LN05 などと異なります。LN05 では SUB コードを漢字の 2 バイト目とみなして全角のリバース・クエスチョンを出力しますが、テキスト・トランスレータは SUB コードを先に処理するため、漢字は正常に出力されます。

17. DEC DUTCH と DEC FRENCH

DEC DUTCH 文字セットの 4/0 と 7/11 および DEC FRENCH 文字セットの 7/14 は、マニュアルの記述と違う文字が出力されます。

18. PLD と PLU

下線、上線、二重下線は、PLD、PLU を行っても移動しません。

19. 垂直タブ

VT によって次の垂直タブ位置まで移動する場合、行間隔が狭すぎるとさらに次の垂直タブ位置まで移動することがあります。このときには、行間隔をひろげるか、または今より小さいフォントを使うことにより、所要のタブ位置に移動することができます。

20. DECVERP と垂直タブ位置

DECVERP (行ピッチ選択命令) を行った場合、垂直タブはホーム・ポジションを基準とした位置にすべて再設定されます。このため、最初の VT による垂直方向の移動量は、現在の位置によって変化しますが、次の VT から DECVERP によって設定された行ピッチと等しくなります。

21. DECDHLT と DECDWL の組み合わせ

LA_KANJI データ・タイプで、DECDHLT (行拡大命令・4倍角) がすでに有効となっている行で DECDWL (行拡大命令・横倍角) を指定した場合、DECDWL は無視されます。同じ行のなかで行拡大命令を組み合わせることは避けてください。

22. DECSTBM と DECVERP

LA_KANJI データ・タイプでは、DECSTBM (上下マージン設定命令) で設定されたマージンは DECVERP (行ピッチ選択命令) ではクリアされません。この場合、DECSTBM によってマージンを再設定してください。

23. SHS と DECSHORP または GSM と DECSHORP

SHS (水平ピッチ選択命令) と DECSHORP (水平ピッチ選択命令) の組み合わせ、または GSM (文字サイズ指定命令) と DECSHORP の組み合わせで、水平タブ位置が LN05 などと合わないことがあります。この場合、水平タブのかわりにスペースを使うことにより、同じ出力を得ることができます。

24. JFY

JFY (行揃え) をオフに設定した行は、その1行すべてが行揃えされなくなります。

25. DECVERP と DECSLPP

DECVERP (行ピッチ選択命令) によって行ピッチが指定されていた場合、DECSLPP (用紙長設定命令) で設定した行数より1行早く改ページする場合があります。

あります。このときには、行間隔をひろげるか、または今より小さいフォントを使うことにより、指定した行数で改ページするようになります。

26. DECVERP による縦倍角のクリア

LA_KANJI データ・タイプでは、GSM(文字サイズ変更命令)による縦倍角指定は、DECVERP (行ピッチ選択命令)によって解除されます。

27. ファイルの先頭にある改ページまたは改行 + 改ページ

テキスト・ファイルの先頭が、改ページ・コードまたは改行 + 改ページで始まる場合、漢字 LN03 に比べて余分な白紙が 1 枚多く出力されることがあります。このようなときは、先頭の不要な改ページ・コードを取り除くか、またはファイル・フォーマットを stream_LF に変更することにより、漢字 LN03 と同様な動きになります。

28. DEClaser2400 (漢字 LN10) との違い

DEClaser 2400 で提供されている以下の機能は、テキスト・トランスレータでは利用できません。

- 漢字アウトライン・フォント・オプションによる、フォントのスケーリング

29. 文字属性

文字属性にアンダーライン、二重アンダーライン、抹消ライン、反転、または網かけが設定されている場合、文字ピッチの設定およびそのときに使用される文字フォントの組み合わせによっては漢字と英数字との間で文字属性に 1 ピクセル程度のずれを生じることがあります。

テキスト・トランスレータと他のプリンタとの上記以外の機能の違いは、「日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル」を参照してください。

4.4 日本語版 DCPS に関するその他の情報

この節では、日本語 DCPS 製品に関する一般的な情報で、他のドキュメントに含まれないものを示しています。

4.4.1 カラー・セパレータ・ページと日本語 PrintServer 17/600 給紙トレイ切り替えの相互作用

日本語 PrintServer Software V5.0, V5.1 では、日本語 PrintServer 17/600 プリンタに給紙トレイの自動切り替え機能を提供しています。これにより、現在の給紙トレイが空になったとき、プリンタは同じサイズ of 用紙が入っている別の給紙トレイに、自動的に切り替えます。この機能は省略時設定で有効です。

現在色つきの紙のフラグ・ページを使用している場合、この給紙トレイ切り替え機能を無効にできます。以下のステップを実行してください。

1. LPS\$SUPPORT:LPSDEFAULTS.*printer-name* を編集する
2. /TraySwitch パラメータを検索する

```
/TraySwitch true                % Controls input tray failover.  
                                % false = disable  
                                % true = enable
```

3. /TraySwitch パラメータの値を、「true」から「false」へ変更する。必ず小文字で「true」か「false」と記述してください。

```
/TraySwitch false               % Controls input tray failover.  
                                % false = disable  
                                % true = enable
```

4. 新しい値を有効にするために、日本語 PrintServer 17/600 プリンタを再構成またはリブートする

詳しくは『DEC PrintServer Supporting Host Software for OpenVMS Management Guide』を参照してください。

DCPS に影響を与えるその他の制限事項

この章では、日本語 DECprint Supervisor に影響を与えることが確認されているその他の問題、ならびにその問題を処理する必須パッチ・キット ("ECO") についての情報を提供します。

次のような方法で必須パッチ・キットを入手し、アップデートすることが可能です。

- 弊社のカスタマ・サポート・センターにお問い合わせで入手
- 次のところから ftp を使用して入手

`ftp.support.compaq.com/public/vms/`

- 次のところから World Wide Web を使用し、OpenVMS Patches を選択

`http://www.support.compaq.com/patches/`

- 弊社のサポート・ツール DSNlink などを使用

5.1 DCPS プロセスがメモリおよびページファイルを消費すること

DCPS プリント・シンビオント・プロセスが徐々にメモリおよびページファイル・スペースを消費する可能性があり、最終的にシステムの性能に影響を与えるという問題があります。この問題は OpenVMS Alpha V7.1-2 システムのみで発生します。

次の DECthreads のパッチ・キットにより、この問題は解決されます。

- VMS712_PTHREADS-V0300, OpenVMS Alpha V7.1-2 システム用

5.2 マルチストリーム・シンビオントでのキュー起動の問題

マルチストリーム・プロセスとして日本語 DECprint Supervisor を起動している場合は、Queue Manager 必須アップデートを必ずインストールしなければなりません。

Queue Manager 必須アップデート・キットは次のとおりです。

- ALPQMAN02_071, OpenVMS Alpha V7.1 システム用
- ALPQMAN05_070, OpenVMS Alpha V7.0 システム用
- ALPQMAN03_062, OpenVMS Alpha V6.2 システム用
- ALPQMAN04_061, OpenVMS Alpha V6.1 システム用
- VAXQMAN02_071, OpenVMS VAX V7.1 システム用
- VAXQMAN04_070, OpenVMS VAX V7.0 システム用
- VAXQMAN05_062, OpenVMS VAX V6.2 システム用
- VAXQMAN03_070, OpenVMS VAX V5.5-2 ~ V6.1 システム用

上記のアップデートは、マルチストリーム・シンビオントを起動している特定の環境下で START/QUEUE コマンドがハングするという問題を解消します。キットで提供されているリリース・ノートには、このアップデートによって解消されるすべての問題について記述しています。このアップデートをインストールした後は、システムをリブートして変更を有効にする必要があります。

このアップデートをインストールしていなければ、マルチストリーム・プロセスで起動しているキューを STOP/QUEUE/RESET を使用して停止した後、直ちに START/QUEUE を使用して起動した場合に、ハングする可能性があります。さらに、次のメッセージが OPCOM に書き込まれることがあります。

```
%DCPS-F-STREAMUSE, Request 4 for Stream Id n ignored.  
Not consistent with symbiont state
```

ハング状態から回復するには、Ctrl/Y を押して DCL プロンプト表示に戻り、続いて再度 STOP/QUEUE/RESET を実行し、数秒待ってから再度キューを起動するようにします。この問題の回避策は、Queue Manager アップデートをインストールすることです。

5.3 LAT 接続および直接接続プリンタのキュー起動の問題

OpenVMS V7.0 ターミナル・ドライバに問題があり、DCPS で LAT 接続および直接接続プリンタを使用することができない場合があります。現象としては、対応するキューを起動することができず、OPCOM に次のようなメッセージが書き込まれます。

```
%%%%%%%%%% OPCOM 31-OCT-1995 21:53:55.73 %%%%%%%%%%%  
Message from user SYSTEM on FUNYET  
Queue SYS$PRINT: %DCPS-E-UNSUPPORTED, unsupported operation or function  
  
%%%%%%%%%% OPCOM 31-OCT-1995 21:53:55.74 %%%%%%%%%%%  
Message from user QUEUE_MANAGE on FUNYET  
%QMAN-I-QUENOTSTART, queue SYS$PRINT could not be started on node FUNYET  
  
%%%%%%%%%% OPCOM 31-OCT-1995 21:53:55.74 %%%%%%%%%%%  
Message from user QUEUE_MANAGE on FUNYET  
-SYSTEM-F-ABORT, abort
```

この現象は継続して発生する場合も、断続的に発生する場合があります。キューの起動を何回か続けて試みると、正しく起動できる場合もあります。

この問題は、次のパッチ・キットで解消されます。

- ALPTTDR01_070, OpenVMS Alpha V7.0 システム用
- VAXTTDR01_070, OpenVMS VAX V7.0 システム用

5.4 シリアル接続プリンタの I/O エラー

OpenVMS ターミナル・ドライバに問題があり、OpenVMS システムのシリアル・ポートに接続したプリンタが I/O エラーを通知する場合があります。この問題は、使用しているシリアル・ポートの種類に依存していますが、OpenVMS Alpha V6.2 ~ V7.0 および OpenVMS VAX V5.5 ~ V7.0 で発生します。

問題は、プリンタのデータ消失防止用の XOFF 要求に対して、ターミナル・ドライバの応答が遅くなる場合があります。

この問題は OpenVMS Alpha V7.1 で解消されました。

この問題は、次のパッチ・キットで解消されます。

- ALPOPDR02_070, OpenVMS Alpha V7.0 システム用
- ALPOPDR04_062, OpenVMS Alpha V6.2 システム用

5.5 不十分なダイナミック・メモリ・エラーによるシンビオントの強制終了

OpenVMS VAX V7.0 および V7.1 システムの DECthreads に問題があり、INSFMEM エラーを発生して DCPS シンビオントが強制終了する場合があります。DCPS シンビオントは毎回、前回よりも多くのメモリを消費し、最終的には利用可能なダイナミック・メモリよりも多くのメモリを取得しようとして強制終了します。シンビオントの強制終了が発生する確率は、シンビオントが新たにプリント・ジョブを処理するたびに増加します。

この問題は、次のパッチ・キットで解消されます。

- VAXCMAR01_071, OpenVMS VAX V7.1 システム用
- VAXCMAR01_070, OpenVMS VAX V7.0 システム用

5.6 アクセス違反あるいは不正パラメータ・エラーによるシンビオントの強制終了

1997年5月19日以降、場合によってはCMA (DECthreads) 機能に問題があることを示すACCVIOあるいはBADPARAMエラーが発生して、DCPSシンビオントが強制終了する可能性があります。DECthreads機能に基づくDIGITAL TCP/IP Services for OpenVMSおよびその他レイヤード製品を含むシステム上のソフトウェアは、この日付以降に障害が発生する可能性があります。

この問題は、デルタ時間が10,000日よりも短いという長年のOpenVMSの制限に関連しています。特に、UNIX基準時間として1970年1月1日を使用しているPOSIX関連のソフトウェアは、1997年5月19日以降にこの制限を超えます。デルタ時間の制限については、OpenVMSのWebページ (<http://www.openvms.compaq.com>) を参照してください。

この問題は、次のパッチ・キットで解消されます。

- ALPLIBR05_070, OpenVMS Alpha V6.1 ~ V7.0 システム用
- VAXLIBR06_070, OpenVMS VAX V5.5 ~ V7.0 システム用

プリンタ固有の情報

この章では、特定のプリンタで DCPS を使用する場合の情報を提供します。

6.1 リコー製プリンタ

6.1.1 RICOH IPSiO NX920 , NX910 , NX900

6.1.1.1 制限事項

- パンチ機能はサポートされません。
- 仕分け印刷機能はサポートされません。
- 9 ピン・プリント・ポスト , 3000 枚フィニッシャーを取り付けた場合 , 用紙サイズによっては本体排紙トレイに排紙できません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.1.2 セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|--------------------------------|
| 0 | 手差しトレイ , オプション (NX900 にはありません) |
| 1 | 標準の給紙トレイ (上段) |
| 2 | 標準の給紙トレイ (下段) |
| 3 | 1000 枚給紙テーブル (上段) , オプション |
| 4 | 1000 枚給紙テーブル (下段) , オプション |
| 5 | 1500 枚増設トレイ・ユニット , オプション |

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合 , 次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

プリンタ固有の情報

6.1 リコー製プリンタ

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending
command is setpapertray
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.1.2 RICOH IPSiO NX800

6.1.2.1 制限事項

- 仕分け印刷機能はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.2.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 標準の給紙トレイ (上段)
- 2 標準の給紙トレイ (下段)
- 3 500 枚増設トレイ, オプション
1000 枚給紙テーブル (上段), オプション
2000 枚給紙テーブル, オプション
- 4 1000 枚給紙テーブル (下段), オプション

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending
command is setpapertray
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.1.3 RICOH IPSiO NX810

6.1.3.1 制限事項

- 仕分け印刷機能はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- 回転ソートはサポートされません。
- シフトソートはサポートされません。
- フォーム印刷はサポートされません。
- 手差しトレイにセットした用紙を印刷するときには、両面印刷およびホチキス止めの機能が使用できません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.3.2 セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|--|
| 0 | 手差しトレイ |
| 1 | 標準の給紙トレイ (上段) |
| 2 | 標準の給紙トレイ (下段) |
| 3 | 500 枚増設トレイ, オプション
1000 枚給紙テーブル (上段), オプション
2000 枚給紙テーブル, オプション |
| 4 | 1000 枚給紙テーブル (下段), オプション |

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

プリンタ固有の情報

6.1 リコー製プリンタ

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.1.4 RICOH IPSiO Color 8100 , 8000

6.1.4.1 制限事項

- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パンチ機能はサポートされません。
- 不定形サイズの内紙はサポートされません。
- A5 (SEF) , A6 , B6 , Half Letter , 官製はがき , 往復はがきの用紙は , 4 ビン・プリント・ポストには排紙ができません。
- A5 (SEF) , A6 , B6 , Half Letter , 官製はがき , 往復はがきの用紙は , 両面印刷ができません。
- A5 (SEF) , A6 , B6 , Half Letter , 官製はがき , 往復はがきの用紙は , フィニッシャには排紙ができません。
- A5 (SEF) , A6 , B6 , Half Letter , 官製はがき , 往復はがきの用紙は , ホチキス止めができません。
- ホチキス止めを使用する場合 , 出力トレイがフィニッシャ下段トレイでなければなりません。
- 手差しトレイから給紙する場合 , ホチキス止めができません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.4.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 標準の給紙トレイ (上段)
- 2 標準の給紙トレイ (下段)
- 3 500 枚増設トレイ・ユニット , オプション
1000 枚増設トレイ・ユニット (上段) , オプション
2000 枚増設トレイ・ユニット , オプション

- 4 1000 枚増設トレイ・ユニット (下段), オプション
- 5 手差しトレイ

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合, 次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは, 実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合, 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し, 印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.1.5 RICOH IPSiO Color 4100

6.1.5.1 制限事項

- 不定形サイズ of 用紙はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.6 RICOH IPSiO NX710, NX700

6.1.6.1 制限事項

- オプションの拡張 RS-232C ボードによる DCPS からの印刷はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.1.7 RICOH IPSiO NX730 , NX720N

6.1.7.1 制限事項

- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。
- 次の用紙はサポートされません。
 - 不定形サイズ
 - 封筒 (洋形 4 号)
- NX730 の仕様により、次の制限があります。
 - A5 (SEF), A6, B6, はがき, Half Letter の用紙は 1 ビン・シフト・トレイには排紙できません。
 - A5 (SEF), A6, B6, はがき, Half Letter の用紙は 4 ビン・プリント・ポストには排紙できません。
 - A5 (SEF), A6, B6, はがき, Half Letter の用紙は両面印刷できません。

6.1.7.2 セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|------------------------|
| 0 | 手差しトレイ |
| 1 | 標準の給紙トレイ |
| 2 | 500 枚増設トレイ・ユニット, オプション |
| 3 | 500 枚増設トレイ・ユニット, オプション |

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCP$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。


```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.1.8 RICOH PC LASER NX-510 , NX-500

6.1.8.1 制限事項

- OT1 用紙サイズはサポートされません。
- オプションの拡張 RS-232C ボードによる DCPS からの印刷はサポートされません。

6.1.9 RICOH IPSiO NX1100 , PC LASER NX-1000

6.1.9.1 制限事項

- ジョブ毎に排紙トレイ上の排紙される位置をシフト出力することはできません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.2 沖データ製プリンタ

6.2.1 OKI MICROLINE 1035PS , 1032PS

6.2.1.1 制限事項

- ウォーターマーク印刷はサポートされません。
- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- カスタムの用紙サイズはサポートされません。
- 印刷パラメータ SHEET_SIZE を指定した場合、PAGE_SIZE に ENV1 ~ ENV4 を指定しても正しく反映されないことがあります。

プリンタ固有の情報
6.2 沖データ製プリンタ

6.2.1.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 ファースト・トレイ
- 2 セカンド・トレイ
- 4 フロント・トレイ
- 5 エンベロープ・フィーダ, オプション

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合, 次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは, 実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合, 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し, 印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.2.1.3 raw TCP/IP のポート番号

raw TCP/IP プロトコルを使用して, MICROLINE 1035PS, 1032PS のための DCPS キューを作成する場合, 9100 というポート番号を使用してください。

プリンタの操作パネルで「システム コウセイ メニュー」の「コントロール T」を「ユウコウ」に設定してください。

6.2.2 OKI MICROLINE 703N3, 701N3

6.2.2.1 制限事項

- B4 DIN 用紙はサポートされません (B4 JIS はサポートされます)。
- B5 DIN 用紙はサポートされません (B5 JIS はサポートされます)。

6.2.2.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 トレイ 1
- 2 トレイ 2
- 4 フロント・フィーダ
- 5 エンベロープ・フィーダ, オプション

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合, 次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは, 実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合, 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し, 印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.2.3 OKI MICROLINE 3020cV

6.2.3.1 制限事項

- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- 小冊子の作成はサポートされません。
- パンチはサポートされません。
- 印刷パラメータ SHEET_SIZE を指定した場合, PAGE_SIZE に ENV1 ~ ENV4 を指定しても正しく反映されないことがあります。
- 次の用紙はサポートされません。
 - A3 ワイド

プリンタ固有の情報
6.2 沖データ製プリンタ

- タブロイド・エクストラ
- リーガル (13.5 インチ)
- カスタム
- 次の用紙に両面印刷することはできません。
 - A3 ノビ
 - A6
 - マルチパーパス・トレイから給紙した場合
- ホチキス止めを使用する場合、出力トレイがフィニッシャ下段トレイでなければなりません。

6.2.3.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 トレイ 1
- 2 トレイ 2
- 3 トレイ 3
- 4 マルチパーパス・トレイ
- 6 トレイ 4
- 7 トレイ 5

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.2.3.3 raw TCP/IP のポート番号

raw TCP/IPプロトコルを使用して、MICROLINE 3020cVのためのDCPSキューを作成する場合、9100というポート番号を使用してください。

プリンタの操作パネルで「システム コウセイ メニュー」の「コントロールT」を「ユウコウ」に設定してください。

6.2.4 OKI MICROLINE 3020c , 3010c

6.2.4.1 制限事項

- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- 小冊子の作成はサポートされません。
- 次の用紙はサポートされません。
 - A3 ワイド (3020c の場合)
 - タブロイド・エクストラ (3020c の場合)
 - リーガル (13.5 インチ)
 - カスタム

6.2.4.2 セパレータ・トレイの指定

3010c の場合:

- 1 トレイ 1
- 2 トレイ 2
- 3 トレイ 3
- 4 マルチパーパス・トレイ

3020c の場合:

- 1 トレイ 1

プリンタ固有の情報 6.2 沖データ製プリンタ

2 トレイ 2
3 トレイ 3
4 マルチパーパス・トレイ
6 トレイ 4
7 トレイ 5

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to E0J) will be ignored
```

6.2.4.3 raw TCP/IP のポート番号

raw TCP/IP プロトコルを使用して、MICROLINE 3020c, 3010c のための DCPS キューを作成する場合、9100 というポート番号を使用してください。

プリンタの操作パネルで「システム コウセイ メニュー」の「コントロール T」を「ユウコウ」に設定してください。

6.2.5 OKI MICROLINE 2030N, 2020N

6.2.5.1 制限事項

- ウォーターマーク印刷はサポートされません。
- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- DCPS の OUTPUT_TRAY により排紙トレイの選択を行うことができません。

- カスタム用紙はサポートされません。

6.2.5.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 ファースト・トレイ
- 2 セカンド・トレイ
- 4 フロント・トレイ
- 5 エンベロープ・フィーダ, オプション

プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合, 次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは, 実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合, 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し, 印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.2.5.3 raw TCP/IP のポート番号

raw TCP/IP プロトコルを使用して, MICROLINE 2030N, 2020N のための DCPS キューを作成する場合, 9100 というポート番号を使用してください。

プリンタの操作パネルで「システム コウセイ メニュー」の「コントロール T」を「ユウコウ」に設定してください。

6.2.6 OKI MICROLINE 900PSIII LT, 903PSIII

6.2.6.1 制限事項

- B4 DIN, B5 DIN, Executive 用紙サイズはサポートされません。
- オプションの Ethernet ボードによる DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。

プリンタ固有の情報 6.2 沖データ製プリンタ

- 給紙トレイに A4 用紙を横置きに装着できる 903PSIII において、A4 用紙を横置きに装着した場合、SHEET_SIZE パラメータには A4L を指定してください。
- プリント・キューにジョブ・セパレータ・ページを対応付ける場合、次のコマンドを使用して次の論理名を定義してください。

```
§ DEFINE/SYSTEM DCPS$queue-name_SEPARATOR_TRAY n
```

このコマンドでは、実行キューの名前 (*queue-name*) と給紙トレイ番号 (*n*: 通常は 1) を指定しなければなりません。この論理名の定義がされていない場合、印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータが指定された場合に次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

- 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータを指定する場合、プリント・ジョブに対してファイル・セパレータ・ページを指定することはできません。次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending  
command is setpapertray  
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to EOJ) will be ignored
```

6.2.7 OKI MICROLINE 801PSIIV-LT , 802PSIIV , 803PSIIV

6.2.7.1 制限事項

- B4 DIN , B5 DIN 用紙サイズはサポートされません。
- オプションの Ethernet ボードによる DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。
- 給紙トレイに A4 用紙を横置きに装着できる 803PSIIV において、A4 用紙を横置きに装着した場合、SHEET_SIZE パラメータには A4L を指定してください。

6.2.8 OKI MICROLINE シリーズすべて

OKI MICROLINE 703N3, 701N3, 1032PS 以外の OKI MICROLINE シリーズのすべてのプリンタについて, Executive 用紙サイズがサポートされなくなりました。

6.2.9 OKI MICROLINE シリーズでの raw TCP の利用時の制限事項

対象機種: MICROLINE 1032PS, 1035PS, 2020N, 2030N, 3010c, 3020c, 3020cV

用紙切れ, 紙づまりなど, プリンタが印刷できない状態がしばらく続くと, 再び印刷可能な状態になったにもかかわらず, エントリが starting の状態のままキューに残り, 印刷されないことがあります。

この場合は, プリンタの電源を入れ直して再起動してください。プリンタのファームウェアのバージョンによっては, パネルの設定によってタイムアウトを「なし」にすることで解決する場合があります。

6.3 セイコーエプソン製プリンタ

6.3.1 InterLaser LP-9600SPD

6.3.1.1 制限事項

- Government Letter 用紙はサポートされません。
- F4 用紙はサポートされません。
- シフト出力機能はサポートされません。
- ソータ機能はサポートされません。
- マルチソータ機能はサポートされません。
- 10 ビン・マルチピン・ユニットの大容量 (スタッカ) モード機能はサポートされません。
- ホチキス止め機能はサポートされません。

プリンタ固有の情報

6.3 セイコーエプソン製プリンタ

- 両面印刷ユニットが必須です。

6.3.1.2 セパレータ・トレイの指定

- 1 カセット 1
- 2 カセット 2
- 3 カセット 3, オプション
- 4 カセット 4, オプション
- 5 カセット 5, オプション

6.3.2 InterLaser LP-8700PS3

6.3.2.1 制限事項

- スタンプ・マーク印刷はサポートされません。
- 製本印刷はサポートされません。
- 洋形 0 号の用紙サイズを指定した場合, 「ヨウシサイズエラー」と表示されることがあります。
- 次の用紙はサポートされません。
 - F4
 - 不定形
 - 角形 2 号
 - GovernmentLetter

6.3.2.2 セパレータ・トレイの指定

- 0 手差し
- 1 用紙カセット 1
- 2 増設トレイ, オプション
- 3 増設トレイ, オプション

6.3.3 ESPER-LASER LP-9200PS3

6.3.3.1 制限事項

- A3W 用紙はサポートされません。
- Government Letter 用紙はサポートされません。
- F4 用紙はサポートされません。
- 往復はがきはサポートされません。

6.3.3.2 セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|---------------|
| 0 | 標準トレイ |
| 1 | カセット 1 |
| 2 | カセット 2, オプション |
| 3 | カセット 3, オプション |

6.3.4 ESPER-LASER LP-8400PS3

6.3.4.1 制限事項

- 往復はがきはサポートされません。

6.3.4.2 セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|---------------|
| 0 | 標準トレイ |
| 1 | 上カセット |
| 2 | 下カセット (オプション) |

6.3.5 ESPER-LASER LP-9200PS2

6.3.5.1 制限事項

- A3 ノビ†, GOVT LEGAL, GOVT LETTER 用紙サイズはサポートされません。

† DCPS V1.3 で新たに追加された A3NOBI 用紙サイズは LP-9200PS2 では A3W に相当します。

- Ethernet インタフェースを使用しての DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。

6.4 富士ゼロックス製プリンタ

6.4.1 FUJI XEROX DocuPrint 201PS

6.4.1.1 制限事項

- 封筒用紙はサポートされません。
- ユーザ定義用紙はサポートされません。
- セパレータ・トレイの指定はサポートされません。

6.4.2 FUJI XEROX DocuPrint C1250

6.4.2.1 制限事項

- 12x18"用紙はサポートされません。
- 8x10"用紙はサポートされません。
- SRA3 用紙はサポートされません。
- 非定型用紙はサポートされません。

6.4.3.2 セパレータ・トレイの指定

0	トレイ 1
1	トレイ 2
2	トレイ 3
3	トレイ 4

6.4.3 FUJI XEROX Laser Press 4410

6.4.3.1 制限事項

- 八開用紙はサポートされません。
- 非定形用紙はサポートされません。
- ホチキス止め機能はサポートされません。
- オフセット・キャッチ機能はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

6.4.3.2 セパレータ・トレイの指定

0	トレイ 1
1	トレイ 2 (オプション)
2	トレイ 3/大容量給紙トレイ 3 (オプション)
3	トレイ 4/大容量給紙トレイ 4 (オプション)

6.5 HP LaserJet 2100 および 2200

6.5.1 メディア・サイズが選択できない

HP LaserJet 2100 および 2200 プリンタは、トレイ内の用紙のサイズを検出できません。このため、DCPS からこのプリンタを使用する際には、次の制限事項が適用されます。

- 用紙サイズでメディアを選択することができません。
- トレイに省略時のサイズと異なるサイズの用紙が装填されていると、省略時のサイズと見なされます。たとえば、プリンタの省略時の用紙サイズがレターの場合、リーガル・サイズのドキュメントは、リーガル・サイズの用紙に印刷すると、レター・サイズに切捨てられます。

間違ったサイズの用紙に印刷されるのを防ぐには、省略時の用紙サイズのトレイを“unlocked”に設定し、その他のすべてのトレイを“locked”に設定します。

6.5.2 キューの起動に関する問題

このシリーズのいくつかのモデルでは、DCPS でジョブが開始できないことがあります。この問題を解決するには、プリンタを PostScript モードに設定するか、または DCPS の PostScript の同期化を抑制します。詳細については、本書の第 3.2 節または『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』を参照してください。

6.6 HP LaserJet 9000

6.6.1 オプションのホチキス止め機能

HP LaserJet 9000 のオプションのフィニッシャに含まれている排紙トレイの STACKER および STAPLER は、同じ物理トレイを参照します。

STAPLER トレイに出力する場合、プリンタは省略時の設定により、省略時のホチキス止め位置にホチキス止めをして出力します。

ホチキス止め機能を指定する推奨方法は、DCPS パラメータの STAPLE を使用することです。このパラメータでは、4 つの異なるホチキス止めの位置が提供されており、ホチキス止め位置を決定する際にページの向きが考慮されます。したがって、STAPLE パラメータで出力のホチキス止めを指定する場合には、OUTPUT_TRAY=STACKER を使用します。

6.7 Lexmark Optra S , Optra T および T シリーズ

6.7.1 キューの起動に関する問題

Lexmark Optra S , Optra T および Optra T シリーズのいくつかのモデルでは、DCPS でジョブを開始できないことがあります。この問題を解決するには、プリンタを PostScript モードに設定するか、または DCPS の PostScript の同期化を抑制します。詳細については、本書の第 3.2 節または『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』を参照してください。

DCPS でのホチキス止め機能の使用

RICOH IPSiO NX800 , NX810 , NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 , OKI MICROLINE 3020cV , Compaq Laser Printer LN32 , LNM40 , あるいは GENICOM LNM40 , mL320 , mL401 にオプションのホチキス止め機能が装着されている場合は , DECprint Supervisor ジョブをホチキス止めすることができます。

7.1 DCL 構文

ホチキス止めは , PRINT パラメータ STAPLE を使用して指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(..., STAPLE= [ LEFT_CENTER  
TOP_CENTER  
TOP_LEFT  
TOP_RIGHT  
NONE ] ,...) file_name
```

これらの値は , 用紙上のイメージ方向に対するホチキス止めを行う位置を指定します。NONE が指定された場合 , プリンタの省略時のホチキス止め設定を無効とし , ジョブはホチキス止めされません。

7.2 ホチキス止め可能な位置

用紙が給紙される方向によっては , STAPLE パラメータのいくつかの値は使えない場合があります。ジョブ・ページ方向およびプリンタの給紙方向に応じたホチキス止め可能な位置については , 表 7-1 , 表 7-2 , および表 7-3 を参照してください。

DCPS でのホチキス止め機能の使用
7.2 ホチキス止め可能な位置

表 7-1 IPSiO NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 , および
LN32 , LNM40 , mL320 , mL401 でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	Yes			Yes
縦方向給紙 (SEF)	Yes	Yes	Yes	
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)	Yes	Yes	Yes	
縦方向給紙 (SEF)	Yes			Yes

表 7-2 IPSiO NX800 , NX810 でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	Yes			
縦方向給紙 (SEF)			Yes	
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)			Yes	
縦方向給紙 (SEF)	Yes			

表 7-3 OKI MICROLINE 3020cV でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	Yes			
縦方向給紙 (SEF)	Yes			
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)				
縦方向給紙 (SEF)				

サポートされないホチキス止め位置を指定した場合、DCPS は STPPOSNOSUP エラーを表示し、そのジョブは出力されません。DCPS のホチキス止めに関するメッセージの一覧については、第 7.4 節を参照してください。

7.3 ホチキス止めに関する注意事項

DCPS で IPSiO NX800 , NX810 , NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 , OKI MICROLINE 3020cV , および LN32 , LNM40 , mL320 , mL401 のホチキス止め機能を使用する場合は次の事項に注意してください。

- LN32 , LNM40 , mL320 , mL401 プリンタでは、ホチキス止めした用紙は排紙トレイ BIN_1 , BIN_2 , BIN_3 のいずれかにしか出力することができません。

IPSiO NX800 , NX810 , NX900 , NX910 , NX920 プリンタでは、ホチキス止めした用紙は排紙トレイ LCOS にしか出力することができません。

IPSiO Color 8000 , Color 8100 プリンタでは、ホチキス止めした用紙はフィニッシャ・シフト下段トレイ LOWER にしか出力することができません。

OKI MICROLINE 3020cV プリンタでは、ホチキス止めした用紙はフィニッシャ下段トレイ BIN_2 にしか出力することができません。

- 用紙一枚に出力されるジョブは、ホチキス止めされません。

- STAPLE パラメータを指定しなかった場合は、プリンタの省略時のホチキス止め設定が使用されます。すべてのジョブへのホチキス止めがプリンタの省略時の設定である場合は、STAPLE=NONE を指定することにより、DCPS ジョブへのホチキス止めを行わないようにすることができます。
- IPSiO NX900, NX910, NX920, Color 8000, Color 8100 プリンタの最大ホチキス止め枚数は、A4, LETTER 以下の用紙の場合 50 枚、B4, LEGAL 以上の用紙の場合 30 枚です。
IPSiO NX900 プリンタでは、限界を超えた場合でもホチキス止めを行います
が、ホチキス止めに失敗します。
IPSiO NX910, NX810 プリンタでは、限界を超えた場合はホチキス止めは行
われず、最大枚数を超えた時点で排紙されます。
- IPSiO NX800, NX810 プリンタの最大ホチキス止め枚数は、A4, LETTER
以下の用紙の場合 30 枚、B4, LEGAL 以上の用紙の場合 20 枚です。
- LN32, LNM40, mL320, mL401 プリンタでは、ジョブの用紙がプリンタの
ホチキス止めの限界 (60 枚) を超えた場合、そのジョブは出力されますが、ホチ
キス止めは行われません。
- OKI MICROLINE 3020cV では、ホチキス可能最大枚数は連量 55-64 kg では
30 枚、65-75 kg では 25 枚、76-89 kg では 22 枚です。
- IPSiO NX910, NX920, Color 8000, Color 8100 および MICROLINE
3020cV プリンタでは、PAGE_LIMIT を指定した場合にホチキス止めができま
せん。
- IPSiO Color 8000 プリンタでは、手差しトレイから給紙する場合はホチキス止
めができません。
- ジョブのセパレータ・ページはホチキス止めされません。ファイル・セパレー
タ・ページは、ファイルとともにホチキス止めされます。
- IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 8000, Color
8100, MICROLINE 3020cV, および LN32, LNM40, mL320, mL401 プ
リンタは、すべての用紙サイズおよび給紙方向をサポートするわけではありま
せん。ホチキス止めできないサイズを指定した場合、DCPS はエラー・メッセ
ージを表示し、そのジョブは出力されません。サポートされている用紙サイズ

および給紙方向の一覧は、表 7-4、表 7-5、および表 7-6 を参照してください。

表 7-4 IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 8000, Color 8100 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
LETTER (8.5x11")	Yes	Yes
A3 (297x420 mm)		Yes
A4 (297x210 mm)	Yes	Yes
LEDGER (11x17")		Yes
LEGAL (8.5x14")		Yes
B4 (256.8x363.7 mm)		Yes
B5 (257.1x182 mm)	Yes	Yes

表 7-5 LN32, LNM40, mL320, mL401 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A, LETTER (8.5x11")	Yes	Yes
A3 (297x420 mm)		Yes
A4 (297x210 mm)	Yes	Yes
A5 (149x210 mm)	Yes	
B, LEDGER (11x17")		Yes
EXECUTIVE (7.25x10.5")	Yes	
FOLIO (8.5x13")		Yes
LEGAL (8.5x14")		Yes
STATEMENT (5.5x8.5")	Yes	

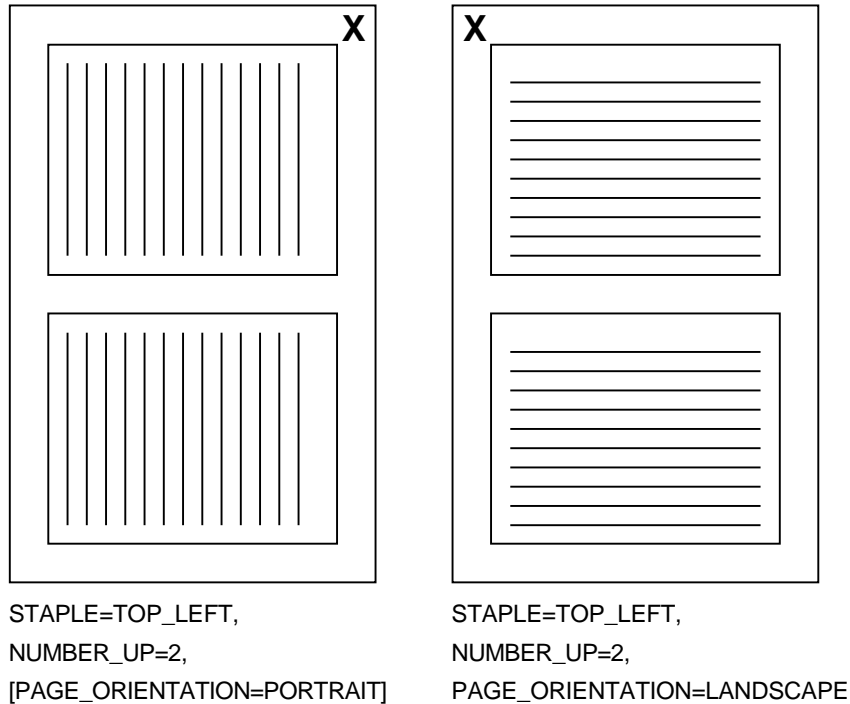
DCPS でのホチキス止め機能の使用
7.3 ホチキス止めに関する注意事項

表 7-6 OKI MICROLINE 3020cV ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズ
および給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A4 (297x210 mm)	Yes	
LETTER (8.5x11")	Yes	

- NUMBER_UP パラメータを使用した場合、ページ上のイメージ方向が変化する可能性があります。これにより、図 7-1 の例に示すように、ホチキス止めの位置に影響します。Xは、STAPLE、NUMBER_UP、PAGE_ORIENTATION パラメータを指定した場合のホチキス止めの位置を示します。(ページ方向が指定されない場合、PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT が省略時の設定です。)

図 7-1 NUMBER_UP のホチキス止めへの影響



7.4 DCPS ホチキス止め機能のエラー・メッセージ

ホチキス止め機能を使用している場合、DCPS から次のようなエラー・メッセージが通知される可能性があります。エラー・メッセージについての詳細は、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

STPNOSUP, Stapling feature not supported for *product_name* printer.

説明: プリンタがホチキス止め機能をサポートしていません。

対処法: オプションであるホチキス止め機能を装着した IPSiO NX800 , NX810 , NX900 , NX910 , NX920 , Color 8000 , Color 8100 , MICROLINE 3020cV , Compaq Laser Printer LN32 , LNM40 , あるいは GENICOM LNM40 , mL320 , mL401 を使用してください。

STPOUTTRAY, Selected output tray does not support stapling.

説明: 指定した排紙トレイは、ホチキス止めには使用できません。

対処法: IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920 の場合は、排紙トレイ LCOS を選択してください。IPSiO Color 8000, Color 8100 の場合は、排紙トレイ LOWER を選択してください。LN32, LNM40, mL320, mL401 の場合は、排紙トレイ BIN_1, BIN_2, BIN_3 のいずれかを選択してください。MICROLINE 3020cV の場合は、排紙トレイ BIN_2 を選択してください。

STPPOSNOSUP, Stapling position not supported for orientation and feed direction.

説明: プリンタは、指定した位置でホチキス止めをすることができません。

対処法: その用紙サイズがサポートされている場合は、給紙方向を変えて用紙を設定するか、または、別のページ方向を選択してください。

STPSIZENOSUP, Stapling not supported for *sheet_size* size paper and feed direction.

説明: 用紙サイズあるいは用紙の給紙方向あるいはその両方がホチキス止め機能でサポートされていないため、ホチキス止めを行うことができません。

対処法: 用紙サイズがサポートされている場合は、用紙を異なる給紙方向に変更してください。

DCPS バージョン 2.1 の情報

この章では、DCPS V2.1で行われた変更について説明します。いくつかの変更点については、本書の別の箇所でも詳細に説明しています。

8.1 DCPS バージョン 2.1 の変更点

8.1.1 新しいプリンタのサポート

DCPS V2.1 では、次のプリンタのサポートが追加されました。

- GENICOM Intelliprint cL160
- GENICOM Intelliprint mL402
- GENICOM Intelliprint mL450
- GENICOM LN45
- HP Color LaserJet 4600
- HP LaserJet 2200
- HP LaserJet 4100
- HP LaserJet 9000
- IBM Infoprint 21
- IBM InfoPrint 32
- IBM InfoPrint 40
- Lexmark C720
- Lexmark C910
- Lexmark T520
- Lexmark T522
- Lexmark T620
- Lexmark T622
- Lexmark W820
- Xerox DocuPrint N24

Xerox DocuPrint N32
Xerox DocuPrint N40

8.1.2 ホチキス止め機能のサポート

DCPS V2.1 では、現在、以前からサポート対象の HP LaserJet 8000, 8100 および 8150 プリンタに加え、新しくサポート対象となった HP LaserJet 9000 および Lexmark W820 プリンタで、オプションのホチキス止め機能をサポートしています。

詳細については、第 6 章で説明しています。

8.1.3 パンチ機能のための新しい PUNCH パラメータ

DCPS では、パンチ機能が装備されているプリンタで出力への穴あけがサポートされるようになりました。パラメータの PUNCH または NOPUNCH をコマンド行に指定することができます。たとえば、次のように指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=PUNCH myfile.ps
```

PUNCH パラメータに対する値はありません。穴あけ位置は、プリンタでの給紙方向によって決定され、穴の数と間隔は、プリンタによって決定されます。NOPUNCH が指定されると、プリンタの省略時のパンチ機能の設定を無効にして、出力ジョブには穴があげられません。

現在のところ、DCPS では次のプリンタでパンチ機能をサポートしています。

GENICOM Intelliprint mL450
GENICOM LN45
Lexmark Optra W810
Lexmark W820

8.1.4 新しい用紙サイズ

DCPS で用紙サイズ INDEXCARD (216 x 360 mm; 3 x 5 インチ) が新たにサポートされるようになりました。このサイズは、任意のプリンタで論理 PAGE_SIZE 値として指定することができ、IBM Infoprint 21 および Xerox DocuPrint N2125 では、物理 SHEET_SIZE 値として指定することができます。

8.1.5 オプションのスタッカ・トレイに対する追加の名前

いくつかのプリンタに装着されているオプションのスタッカ・トレイは、BIN_1 または OCT という既存の名前に加えて、STACKER という名前で参照できるようになりました。これを装着しているプリンタには、次のものがあります。

Compaq Laser Printer LN32
Compaq Laser Printer LNM40
GENICOM LN28
GENICOM microLaser 280
GENICOM microLaser 320
GENICOM microLaser 401

8.1.6 スタートアップ・プロシージャの変更

SYSSSTARTUP:DCPSSSTARTUP.TEMPLATE として提供されている DCPS スタートアップ・プロシージャのユーザ変更可能な部分が、フォーマット変更されてわかりやすくなっています。

DCPS スタートアップ・プロシージャについて、次のような変更が行われています。

- DCPS のバージョン番号が表示されます。
- DCPSSSTARTUP.COM および DCPSSSTARTUP.TEMPLATE のバージョンがチェックされます。DCPSSSTARTUP.TEMPLATE の新しいバージョンが利用可能な場合には、次のメッセージが表示されます。

```
%DCPS-I-NEWSTARTUP, newer version of DCPSSSTARTUP available
```

DCPS バージョン 2.1 の情報
8.1 DCPS バージョン 2.1 の変更点

このメッセージが表示された場合には、DCPS\$STARTUP.TEMPLATE を.COM にコピーして、サイト固有の変更をDCPS\$STARTUP.COM からこの新しいバージョンに移す必要があります。

8.1.7 DCPS バージョンの論理名

DCPS の現在実行中のバージョンのソフトウェア・バージョン番号が、論理名DCPS\$VERSION に表示されるようになりました。

8.1.8 すべてのキューに対する USERNOTFOUND メッセージの抑制

OpenVMS クラスタに複数の User Authorization ファイル (UAF) がある場合には、プリント・ジョブをキューに登録しているユーザが、DCPS キューを実行しているシステムに UAF レコードを持っていない可能性があります。そのような場合、DCPS は USERNOTFOUND オペレータ・メッセージを発行していました (詳細については『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』を参照)。

DCPS V1.1 からは、キューに対して論理名DCPS\$*queuename*_IGNORE_UNKNOWN_USERを定義できるようになりました。この論理名は、そのキューについて USERNOTFOUND エラー・メッセージを抑制します。

DCPS V2.1 では、新しい論理名DCPS\$IGNORE_UNKNOWN_USERが追加されました。この論理名が定義された場合には、システム上のすべての DCPS キューについて USERNOTFOUND メッセージを抑制します。論理名の値は、TRUE または 1 でなければなりません。

```
$ DEFINE /EXECUTIVE_MODE /SYSTEM DCPS$IGNORE_UNKNOWN_USER TRUE
```

8.1.9 古い情報の削除

リリース・ノートから DCPS の以前のバージョンに関する情報を記述した章が削除されました。古いリリース・ノートに含まれていた情報は、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド』および『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド』の適切な箇所に移されました。

8.1.10 移動された NETPRINT ユーティリティ

サポート対象外の NETPRINT ユーティリティのディストリビューションに対して、次の変更が行われています。

- NETPRINT ファイルが、[.NETPRINT]サブディレクトリではなく、DCPS の例を格納するためのディレクトリ `SYSS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]` にインストールされるようになりました。
- NETPRINT ZIP アーカイブのファイル名が、`NETPRX11.ZIP` から `NETPRINT.ZIP` に変更されました。
- “read me”ファイルのファイル名が、`README.TXT` から `NETPRINT.TXT` に変更されました。
- UNZIP プログラムの `UNZIP50.EXE` はもうインストールされません。UNZIP の現在のバージョンは、OpenVMS Freeware CD を始め、いろいろな方法で入手することができます。

8.2 DCPS バージョン 2.1 で解決された問題

DCPS V2.1では、次の問題が解決されています。

8.2.1 STREAMUSE エラーのためにキューが起動できない

特定の状況下では、キューを起動しようとするとき、DCPS から次のようなエラー・メッセージが発行されていました。

```
%DCPS-F-STREAMUSE, Request 4 for Stream Id n ignored.  
Not consistent with symbiont state
```

この場合、まず、他のキューを停止するか、またはシステムからシンビオン・プロセスを削除しなければ、キューを起動することができませんでした。また、このキューに関連付けられたシンビオン・プロセスが CPU 時間を過度に使用することもありました。

この問題は、STOP /QUEUE /RESET コマンドを使用して、ストールしたキューを停止しようとするときによく起こっていました。この問題は、特定のプリンタ・ネットワーク・カード (Emulex NetJet カードなど) を使用している場合に頻繁に見られました。

また、DCPS V2.1 での解決により、STOP /QUEUE /RESET を発行した後、キューが停止するまでに DCPS がプリンタからの応答を待つ時間も短縮されました。

8.2.2 MOPy で複数ファイルのジョブが印刷できない

特定のプリンタで、複数のファイルを持つジョブに対し JOB_COUNT パラメータを使用して、複数部数の印刷を指定すると、次のメッセージを表示してジョブが失敗しました。

```
%DCPS-E-NOMOPY, MOPy not supported with multiple files
```

DCPS V1.8 から、DCPS は特定のプリンタで MOPy (multiple original print) 機能を使用するようになり、プリンタに対してファイルを複数回送信しなくても、プリンタは複数の部数を印刷できるようになりました。このサポートに対する制限事項は、複数のファイルのあるジョブを印刷できないことでした。この機能を使用していたプリンタは、次のとおりです。

Compaq Laser Printer LNC02

DIGITAL Laser Printer LN20
DIGITAL Laser Printer LN40
DIGITAL Laser Printer LNC02

DCPS V2.1 では、この MOPy サポートは削除されて、V1.8 より以前の動作に戻されました。これにより、若干パフォーマンスの低下が生じるかもしれませんが、これらのプリンタを使用する際に、複数のファイルを複数部印刷する機能が回復されました。

8.2.3 プリンタのパスワードを変更すると DCPS のエラー・ページが出力されなくなる

プリンタの PostScript パスワードを省略時の値の 0 から変更すると、ジョブがエラーで終了した場合に DCPS でエラー・ページが印刷されませんでした。

8.2.4 Lexmark Optra Se 3455 のトレイが選択できない

DCPS V2.0 では、Lexmark Optra Se 3455 プリンタでオプションのトレイが選択できませんでした。つまり、給紙トレイの TRAY_4 と TRAY_5、および排紙トレイの BIN_1、BIN_2、BIN_3 が選択できませんでした。標準の排紙トレイも、プリンタの省略時の排紙トレイが標準の排紙トレイに設定されていないと、選択できませんでした。

raw TCP/IP ポート番号

raw TCP/IP プロトコルを使用して DCPS キューを設定する場合は、使用している NIC (ネットワーク・インタフェース・カード)、プリント・サーバ、ターミナル・サーバのいずれかのドキュメントを参照して、その raw TCP/IP ポートの番号を決定してください。

表 A-1 に、一般的に使用されるデバイスのポート番号を示します。

表 A-1 raw TCP/IP ポート番号

20nn	DECserver ターミナル・サーバ ("nn"は物理ポート番号)
2501	DIGITAL LN17ps および DIGITAL Laser Printer LN17+ps Emulex NIC
3001	DIGITAL Laser Printer LN15 および LN15+ DIGITAL RapidPrint 500 プリント・サーバ
6869	Compaq Laser Printer LNC02 DIGITAL Laser Printer LN20, LN40, LNC02
9100	Compaq Laser Printer LN16, LN32, LNM40 GENICOM Intelliprint mL, LN および microLaser プリンタ GENICOM RapidPrint MPS1000 プリント・サーバ HP LaseJet プリンタ IBM InfoPrint プリンタ Lexmark C, Optra S, Optra T, T および W シリーズ・プリンタ Tektronix Phaser プリンタ Xerox DocuPrint N プリンタ HP JetDirect, Lexmark および XCD プリント・サーバ OKI MICROLINE 1035PS, 1032PS, 2020N, 2030N, 3010c, 3020c, 3020cV

B

Alpha システムにインストールされるファイル

日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの場合には、以下のファイルがインストールされます。

DCPSJ021.RELEASE_NOTES	[SYSHLP]
DCPS\$HELP.HLP	[SYSHLP]
DCPS\$SMBshr.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$SMB.EXE	[SYSEXE]
DCPS\$MSG.EXE	[SYSMMSG]
DCPS\$TRNPRC.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_SERIAL.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_CPAP.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_APPLETALK.EXE	[SYSLIB]
TRN\$DDIF_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$DDIF_IMAGE.EXE	[SYSLIB]
TRN\$ANSI_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$PROPRINTER_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$PCL_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$LIST_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$REGIS_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$TEK4014_PS.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$DEVCTL.TLB	[SYSLIB]
DCPS\$STARTUP.TEMPLATE	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$REQUIRED.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$GET_VERSION.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$EXECUTION_QUEUE.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$GENERIC_QUEUE.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$IVP.COM	[SYSTEST]
DCPS\$IVP_ANSI.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_POST.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_PCL.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_PROPRINTER.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_LIST.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_REGIS.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$IVP_TEK4014.DAT	[SYSTEST.DCPS]

Alpha システムにインストールされるファイル

LPS\$\$SINGLEHOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$DOUBLEHOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$HOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$NUP.LUP	DCPS\$LAYUP:
COLOR-PRINTER-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
COLORWRITER-2000-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
PROPRINTER-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
FULL-A4-LANDSCAPE.LUP	DCPS\$LAYUP:
CPS_TO_DCPS_STARTUP.COM	[SYS\$STARTUP]
LPS_ANSI_PROLOGUE.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
UPDATE-ANSI-PROLOGUE.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
FONT_DOWNLOADER.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$SET_PRINTER_NAME.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$SET_TIMEOUT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_CONFIG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_DEVPARAM.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_STARTPG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_NOSTRTPG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_PRNTCNFG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_PSCRIPT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
FAX_3500_PRINTME.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_PS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_PS_SENDDPS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_TEXT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_TEXT_SENDDPS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT_DEFAULT	[SYSLIB]
UNSOLICITED-PJL-FIX.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
IGNORE-A-SIZE.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$COMMON-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$CONFIG-PRINTER-PORT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS100-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS200-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS500-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$GET-DS100-PORT-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SET-DS-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SET-DS100-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SAVE-DS500-PORT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$STATUSDICT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
CONFIDENTIAL.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
INSTALL-PS-SUPPLEMENT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
PS_SUPPLEMENT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
NETPRX11.ZIP	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]
README.TXT	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]

Alpha システムにインストールされるファイル

UNZIP50.EXE

[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]

C

VAX システムにインストールされるファイル

日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システムの場合には、以下のファイルがインストールされます。

DCPSJ021.RELEASE_NOTES	[SYSHLP]
DCPS\$HELP.HLP	[SYSHLP]
DCPS\$SMB\$SHR.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$SMB.EXE	[SYSEXE]
DCPS\$MSG.EXE	[SYSMMSG]
DCPS\$TRN\$PRC.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_SERIAL.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_CPAP.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$BE_APPLETALK.EXE	[SYSLIB]
TRN\$DDIF_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$DDIF_IMAGE.EXE	[SYSLIB]
TRN\$ANSI_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$PRO\$PRINTER_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$PCL_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$LIST_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$REGIS_PS.EXE	[SYSLIB]
TRN\$TEK4014_PS.EXE	[SYSLIB]
DCPS\$DEVCTL.TLB	[SYSLIB]
DCPS\$STARTUP.TEMPLATE	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$REQUIRED.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$GET_VERSION.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$EXECUTION_QUEUE.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$GENERIC_QUEUE.COM	[SYS\$STARTUP]
DCPS\$I\$VP.COM	[SYSTEST]
DCPS\$I\$VP_ANSI.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_POST.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_PCL.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_PRO\$PRINTER.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_LIST.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_REGIS.DAT	[SYSTEST.DCPS]
DCPS\$I\$VP_TEK4014.DAT	[SYSTEST.DCPS]

VAX システムにインストールされるファイル

LPS\$\$SINGLEHOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$DOUBLEHOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$HOLES.LUP	DCPS\$LAYUP:
LPS\$NUP.LUP	DCPS\$LAYUP:
COLOR-PRINTER-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
COLORWRITER-2000-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
PROPRINTER-FULL-PAGE.LUP	DCPS\$LAYUP:
FULL-A4-LANDSCAPE.LUP	DCPS\$LAYUP:
CPS_TO_DCPS_STARTUP.COM	[SYS\$STARTUP]
LPS_ANSI_PROLOGUE.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
UPDATE-ANSI-PROLOGUE.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
FONT_DOWNLOADER.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$SET_PRINTER_NAME.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$SET_TIMEOUT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_CONFIG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_DEVPARAM.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_STARTPG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_NOSTRTPG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_PRNTCNFG.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCW1000_PSCRIPT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
FAX_3500_PRINTME.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_PS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_PS_SENDDPS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_TEXT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DL3500_SEND_FAX_TEXT_SENDDPS.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT_DEFAULT	[SYSLIB]
DCPS\$DELETE-LPS-CLIENT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
UNSOLICITED-PJL-FIX.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
IGNORE-A-SIZE.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$COMMON-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$CONFIG-PRINTER-PORT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS100-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS200-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$DS500-PORT-SETTINGS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$GET-DS100-PORT-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SET-DS-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SET-DS100-GROUPS.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
DCPS\$SAVE-DS500-PORT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
LPS\$STATUSDICT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
CONFIDENTIAL.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
INSTALL-PS-SUPPLEMENT.COM	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
PS_SUPPLEMENT.PS	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]
NETPRX11.ZIP	[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]

VAX システムにインストールされるファイル

README.TXT
UNZIP50.EXE

[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]
[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS.NETPRINT]

ドキュメンテーション・キットの構成

ここでは、本ソフトウェアに関するドキュメンテーション・キットについて説明します。

日本語 Compaq DECprint Supervisor for OpenVMS ドキュメンテーション・キット (注文番号: QA-09NJA-GZ)

- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ユーザーズ・ガイド
- 日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム・マネージャーズ・ガイド
- 日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル

プログラミング・ガイド・キット (注文番号: QA-798JC-GZ)

- 日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル
- PostScript Printers Programmer's Supplement
- Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual
- Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Supplement
- PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010 /4014

日本語 DEC PrintServer サポートリング・ホスト・ソフトウェア for OpenVMS VAX (注文番号: QA-798JA-GZ)

- 日本語 DEC PrintServer サポートリング・ホスト・ソフトウェア/VMS インストール・ガイド
- DEC PrintServer Supporting Host Software for OpenVMS Management Guide

ドキュメンテーション・キットの構成

- ユーザ・リファレンス・カード

日本語 DEC PrintServer サポート・ホスト・ソフトウェア for ULTRIX (注文番号: QA-VVZJA-GZ)

- 日本語 DEC PrintServer サポート・ホスト・ソフトウェア/ULTRIX インストール・ガイド
- DEC PrintServer Supporting Host Software for ULTRIX Management Guide
- ユーザ・リファレンス・カード

以下の PostScript ドキュメントが株式会社 ASCII より販売されています。

- ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル第 2 版
- ページ記述言語 PostScript チュートリアル&クックブック
- ページ記述言語 PostScript プログラム・デザイン

日本語 Compaq DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS
リリース・ノート

2002年8月 発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)

AA-PZCFL-TE

